

企画監修：NHK文化センター

好奇心の、その先へ
NHKカルチャー



北野佐久子先生 同行

魅力のイギリスのリヴィエラ！（南西部）とコッツウォルズ 9日間
～ アガサ・クリスティーの故郷&小説の舞台を訪ねて ～



《講師 北野佐久子先生プロフィール》

東京都出身。立教大学文学部英米文学科卒業。児童文学を立教大学名誉教授・吉田新一氏に師事。
今田美奈子お菓子教室製菓コース師範資格。日本人初の英国ハーブソサエティー会員となり、研究のために渡英。
結婚後4年間をウィンブルドンで暮らす。児童文学、ハーブ、お菓子を中心に執筆、講座を行うなど、イギリス文化を紹介している。
NHK文化センターの講座を長年数多く担当。英国ハーブソサエティー終身会員。ピアトリクス・ポター・ソサエティー会員。
「イギリスのお菓子とごちそう」「イギリスのお菓子と本と旅」－ アガサ・クリスティーの食卓 －
「イギリスのお菓子と暮らし」（ともに二見書房）、「物語のティータイム」（岩波書店）、「ピアトリクス・ポターを訪ねるイギリス湖水地方の旅」（大修館書店）、「ハーブ祝祭歴」（教文館）、「美しいイギリスの田舎を歩く」（集英社 be 文庫）など著者多数。
編書に「基本 ハーブの事典」（東京堂出版）がある。

★同行講師より「旅のお誘い」★

アガサ・クリスティー(1890－1976)は後期ビクトリア時代に、イギリス南西部、デボン地方にあるトーキーで生まれ、クリームティーを愛する女性として育ちました。その生涯で長編66作、中短篇156作をはじめ、数多くの作品を残しました。イギリスの文学はその特徴として、風土性、とくに作者の担うローカル性が強く反映されていると言われています。クリスティーの作品にも、彼女が慣れ親しんだ、デボンの自然、風土、生活、食べ物などが盛り込まれており、作品に生かされているのです。たとえ、その風土を実感しなくても、クリスティーの上質なミステリーを楽しむことはできるでしょう。けれども、その風土に触れてみて、はじめてその作品そのものを味わうことができるようになると思うのです。
～ この旅が人生の宝物として生き続けることになることを願ってやみません。～



§ 旅行期間 2024年6月19日（水）～6月27日（木）羽田空港発着9日間

§ 旅行代金 898,000円（1名様 個室ご利用ご料金）

§ 旅行企画・実施 株式会社日放ツーリスト

●●旅のポイント●●

- ★なかなか行けない風光明媚な英国西南部のリヴィエラを
北野先生のご案内にてアガサクリスティーゆかりの地を巡りながらご堪能いただきます！
- ★ダートムーア国立公園内にあるアガサクリスティーゆかりのホテルにご滞在！
ここではじめてポワロが登場する記念の第1作目『スタイルズ荘の怪事件』を執筆。
- ★セント・メアリー・ミード村のモデルのひとつとされている村を2か所訪問！
ウィディコム・イン・ザ・ムア村=今にもミス・マープルが歩いてあらわれそうな、不思議な錯覚を覚える村
コッキントン村=まるでそこだけ中世のおとぎ話から抜け出てきたかのような緑深い村
- ★『そして誰もいなくなった』の舞台バーアイランド！
バーアイランドホテルの素敵なアフタヌーンティーにて本場のクロテッドクリームをご賞味！
- ★グリーンウェイへは小説に何度となく登場する蒸気機関車にご乗車！
そして 魅力のダートマスの港街もご散策！
ダートマスから美しい景色のリバー・ダートをご堪能いただきながらフェリーで向かいます！
- ★コッツウォルズにて チャールズ国王の私庭、美しいハイグローブをご見学（予定）（※注下段）
- ★ロンドンでは 北野先生のご案内で 世界遺産王立植物園キューガーデンズをご見学！

本場英国のお菓子の基本を料理実習！

イギリスのケーキは何といても家族のために焼くものです。

・・・まさしく家庭の幸せの証し・・・

昔から家庭で楽しまれてきた定番の味が一番美味しい

<イギリスのお菓子と本の旅 北野先生著作より>

緑の中で風にふかれながら楽しむ焼きたてのスコーンの味も
イギリスならではの豊かさのひとつです。

<イギリスのお菓子とごちそう 北野先生著作より>



●6/20 デヴォン・クッカーリー・スクールにてスコーンとヴィクトリア・スポンジのお料理実習●



バーアイランドホテル



ダート川をフェリーに乗って



グリーンウェイのダイニングルーム

★★ 旅行募集要項 ★★

- 旅行期間:2024年6月19日(水)~6月27日(木) 6泊9日
- 発着地:羽田空港発着 *地方よりご参加の場合はご連絡お待ちしております。
- 旅行代金:898,000円 (1名様1室利用のご料金)
(旅行代金には 羽田空港施設利用料・国際観光旅客税・海外空港税・燃油サーチャージは含まれておりません。2024年2月時点の参考価格=118,330円
この金額は 航空券発券時の為替レート、燃油価格により変動します。
この料金は最終のご請求書にてご請求させていただきますので予めご了承ください)
- 募集人員:14名様 ■最少催行人員:12名様
- 募集締切日:4/18(木) 但し 満席になり次第締め切ります。
- 同行講師:北野佐久子先生 ■添乗員:同行
- 利用航空会社:日本航空 ■集合・解散場所:羽田空港 第3ターミナル
- 利用ホテル:ダートムーア→ムアランドホテル トーキー→ハンプトンバイヒルトン ロンドン→ミレニアムグロスターロンドンケンジントン
- 企画監修:NHK文化センター 青山教室 ※イギリスでは 帰国日まで有効なパスポートが必要です。
- 申し込み方法:申込書をご記入いただき(株)日放ツーリストへFAXかメールか郵便にてお送りください。



かわいいコッキントン村

(注) 6/24 ハイグローブの庭園ご見学&アフタヌーンティーにつきまして 事前予約が必要となりますが 3/1から予約開始となります。万入場のご用意出来なかった場合、コッツウォルズのいずれかの村へ代案としてご案内させていただきます。

★旅程表★

	月日	曜日	都市名	交通機関	時間	内 容	食事
1	6/19	水	羽田		21:00	羽田空港 第3ターミナル ご集合。	
2	6/20	木	羽田 ロンドン バース デボン ダートムーア	JAL041 専用バス	0:20 6:25 10:00 14:00 夕方	空路 ロンドンへ。 ロンドン・ヒースロー空港ご到着。 専用バスでバースへ。(約2時間位) 世界遺産バースの街ご散策 ★古代ローマ温泉遺跡に隣接する素敵な The Pump room で 百年愛される名物の < Bath Bunds > ご賞味ください！ デボンクッカーズスクールでお料理実習 Classical English Sweetsの基本、Scones and Victoria Sponge を実習 ムアランドホテルご到着 クリスティーの第1作目 < スタイルズ荘の怪事件 > がここで執筆されました！ < ダートムーア ムアランドホテル >	機内 軽食 夕
3	6/21	金	ダートムーア ヘイターロックス ウィディコム・イン・ザ・ムア パーアイランド トーキー	徒歩 専用バス 専用バス	9:30 10:30 12:30 夕方 19:00	ホテル周辺の国立公園の自然をお楽しみ ホテルからヘイターロックスへ。その後 ウィディコム・イン・ザ・ムアへ。 ウィディコム・イン・ザ・ムアをご見学 セント・メアリー・ミード村のモデルのひとつとされている霧田気の良い村 パーアイランドご見学 & パーアイランドホテルで 素敵な < Afternoon Tea > デヴォンの名物！ クロテッドクリームとスコーンをご賞味！ パーアイランドからホテルへ。 トーキーのホテルご到着。 ご夕食の前に お散歩！ アガサゆかりのインペリアルホテルご見学。 トーキーの港で水揚げした新鮮シーフードのディナー < トーキー ハンプトンバイヒルトン >	朝 昼 夕
4	6/22	土	トーキー コッキントン村 トーキー	徒歩 路線バス	9:00 午後	アガサクリスティー専門ガイドさんによるトーキー市内観光 アガサクリスティーゆかりの地を巡ります コッキントン村ご見学 (セント・メアリー・ミード村のモデルのひとつとされている可愛い村) コッキントン村からの帰り道 アガサゆかりのグランドホテルに立ち寄り。 ホテルのBarには Miss Marple cocktail があります！(ご希望の方はご賞味ください！ 現地払い) < トーキー ハンプトンバイヒルトン >	朝
5	6/23	日	トーキー ペイントン キングスウェイ ダートマス グリーンウェイ トーキー	路線バス 蒸気機関車 フェリー フェリー 蒸気機関車	9:00 屋頃 夕方	トーキーから路線バスにてペイントンへ。 ペイントンから 蒸気機関車 でキングスウェイへ。 キングスウェイ ⇒ ダートマス (対岸へ渡るフェリー) ダートマスの街ご見学(ロイヤルキャッスルホテル等) ダートマス ⇒ グリーンウェイ ★ ダート川の最高の眺めをお楽しみ！ グリーンウェイハウスご見学とその周辺ご散策。 The Barn Café で 軽食(自由食) フェリー&蒸気機関車&路線バスにてトーキーへ。 ホテルご到着。 < トーキー ハンプトンバイヒルトン >	朝
6	6/24	月	トーキー コッツウォルズ ロンドン	専用バス	午前 屋頃 夕方	ホテルよりコッツウォルズへ向けて出発。 チャールズ国王が手塩にかけて育てた私庭、 ハイグロープの庭園ご見学と Afternoon Tea (※注 左下段) テッドベリーにあるハイグロープのお店立ち寄り。 ロンドンのホテルご到着。 < ロンドン ミレニアムグロスター >	朝 昼 夕
7	6/25	火	ロンドン	地下鉄		世界遺産 英国王立植物園 キューガーデンご見学 お昼はニューエンズのアフタヌーンティーがお薦め！(自由食) < ロンドン ミレニアムグロスター >	朝
8	6/26	水	ロンドン	徒歩 専用バス	午前 午後 15:00 19:20	フリー。ご希望の方はピクトリア&アルバート博物館へご案内。 お昼はモリスルーム(カフェ)が お薦め！(自由食) フリー。 ホテルよりヒースロー空港へ。 空路 羽田へ。 < 機内泊 >	朝 機内
9	6/27	木	羽田		17:20	羽田空港 第3ターミナルご到着後、解散。	

※上記日程は天候・現地事情・交通事情等により変更になる場合もございます。また航空会社の都合により発着時間の変更や集合時間の変更になる場合もございます。